

地井昭夫先生追悼 10 年記念パネルディスカッション

～今の事態を地井先生はどう見ておられるだろうか～

“農山漁村へのまなざし、都市への思い…”

開催日時：2016年7月9日（土） 13:30～16:30

開催場所：合人社ウェンディひと・まちプラザ 研修室C ※参加費：無料

（広島市まちづくり市民交流プラザ）広島市中区袋町6番36号

主催：一般社団法人日本建築学会中国支部 農村計画委員会

後援：公益社団法人日本都市計画学会中国四国支部

※本催しは、日本建築学会中国支部の「教育文化事業（講演会等）」として行うものです。

学会員以外の方の
参加も大歓迎です！

地井昭夫先生は、建築家・吉坂隆正（1917-1980）に師事し、早稲田大学在学中より伊豆大島の復興計画を手がけ、「発見的手法」を主唱するとともに、当時はあまり知られていなかった船小屋の漁村集落（丹後・伊根浦）に魅せられ、漁村の空間・社会の研究を精力的に行われました。また、広島工業大学、金沢大学、広島大学、広島国際大学で教鞭を執られ、その間、漁村計画研究所及び漁村研究会を発足させ、全国各地の漁村計画、漁村の環境改善などに関する研究と提案をなされました。本催しは、こうした地井昭夫先生を偲び、没後 10 年の追悼記念として行うものです。

内容としては、報告（地井先生の足跡・まなざし等）とパネルディスカッション、意見交換・フリートークにより、地井先生の建築・集落や中国地域における地域計画、研究・学会活動へのまなざしなどを取り上げながら、先生は農山漁村や都市の“今”をどのように見ておられるかを考え、“これから”のヒントを探ります。

未来都市のモデル・小伊津

所在地：平田市小伊津町

規模：約3.4ha

探訪マップ S-2

平田市の中心部から約10%の日本海に面する小伊津をはじめ訪ねた時、眼前の大海原に対峙するように断崖に屹立する集落景観に強い衝撃を受けた。

しかも急傾斜地にあたかもビルのように、ぎっしりと民家が張りつくその集落景観は、未来都市をも彷彿させるものがある。そして幅が1～2m程度の集落内部の路地は、あたかも迷路のように張り巡らされながら、子どもたちの遊び空間や路地端会議の場ともなっていた。しかし、一方でそこに電柱を立てる余裕もなく、電線は民家の軒下に張り巡らされている。

そして、ここは中国地方でも最も密度の高い集落のひとつであろうと思われる。1975(昭和50)年ごろの人口1042人、戸数221でみると、その人口密度はネットで1㎡300人、戸数密度は64戸である。とくに戸数密度は中国地方の漁村の中でもトップであった。

長い間自然の猛威や大火、水道施設の未整備による伝染病、地滑りなどの困難にたち向かってきた住民にとって、1978(昭和53)年に全国ではじめて実施された「漁村集落環境整備事業」による整備は、暮らしに大きな転換点をもたらすことになった。

そのメニューは、集落道、集落排水処理施設、上水道施設、防災安全施設、公園広場、住宅

用地整備などであった。例えば集落道整備にあたっては、8戸の漁家が海岸近くから高台に立ち退きをするという漁村では「前代未聞」と思われる住民の協力もみられた。

そして「水道のおかげで油料理ができるようになりました。ワカメの洗浄ができるようになって値が上がりました。水道の完成で市の水道係が補修で崖から落ちる心配がなくなりました。など多様な整備効果が披露されるとともに、海をきれいにする運動や地元の特産品づくりへと展開されつつある。

こうした孤高の集落の景観と歴史は、大自然の中で一本釣り、延縄、採貝漁に頼りながら、コミュニティ・セルフ・エイドとも言うべき共同空間を創造してきたコミュニティを支援し得る適切な社会資本投資の必要性和意義をも伝えてきている。（地井 昭夫）



小伊津の景観（「漁村研究」第1号より）

小伊津
2016.4

プログラム

- はじめに（13:30～ 時間は目安です）
 - 基調報告（13:40～14:20）
 - 瀬戸内（祝島など）と地井先生のまなざし 森保洋之（広島工業大学名誉教授）
 - 建築・集落と地井先生のまなざし 内田文雄（山口大学）
 - ～休憩～（10分程度）
 - パネルディスカッション（14:30～15:50）
 - 広島を中心とした地域計画・農山漁村から 宮本茂（中国地方総合研究センター）
 - 九州の農山漁村と地井先生の足跡から 岡田知子（西日本工業大学）
 - 研究・学会活動から 篠部裕（呉工業高等専門学校）
 - 晩年のコミュニティへの思いから 山下和也（地域計画工房）
 - 同世代の研究者、多様な様相から 石丸紀興（広島諸事・地域再生研究所）※パネリスト兼コーディネーター
 - 意見交換・フリートーク（15:50～16:20）
 - おわりに（～16:30）
- ※テーマ等に変更がある場合があります。



【問い合わせ・申込先】

（株）地域計画工房 担当：山下和也 E-mail：k-yamashita@chiikikb.co.jp TEL：(082) 293-1460 FAX：(082) 231-6866

※準備のため、申込み（原則メール：お名前、所属等、連絡先の電話番号・E-mail）をお願いします。7月6日（水）まで